

止まり木



ハーモニーを奏でる



本日実施した文化発表会。まさに芸術の秋にふさわしい1日になりました。午後からの展示見学では、日頃の学習の成果や部活動での成果を見学することができました。力作が多く、丁寧に仕上がった作品からみんなが、真剣にまた、本気で作品に向き合った様子がよくわかりました。そしてもう一つ感動したことがあります。それは、みんなの見学態度です。多くの学校では、展示見学の際には、”作品には触れない”というのが一般的です。触って壊してしまうことがあるからです。しかし、みんなは作品を大切に扱いながら実際に触れている。触れたうえで、その作品を楽しんでいる姿に校長先生は、感動しました。さらに、作品を見ているときに、バカにしたり、けなしたりといういやな発言がなかったこともうれしく思いました。これこそ、**作った人の気持ちを理解できるみんなの力**だと思います。

午前中の合唱コンクールも各クラスの努力が表れていて、本当にあっという間に終わってしまいました。金賞に輝いた1年1組、2年3組、3年1組の皆さん、本当におめでとうございました。その中でも最優秀賞にか輝いた3年1組、本当に素晴らしかったです。コンクールなのでどうしても順位が付きますが、本当に僅差の争いだったと思います。さらに今年は各学年の全体合唱が行われました。学年の心が一つになり、歌詞を伝えよう、感情を伝えようという思いがひしひしと伝わってきました。**ここから新たな伝統の開始**ができたと確信します。そして、最後にマリンバのすばらしい演奏を披露してくれた音楽部の皆さん、ありがとうございました。心地よい音色に癒された人もたくさんいたことでしょう。

合唱とは字の通り、唱を合わせるということで、カラオケボックスなどで自分の好きなように好きな歌を歌うのとはわけが違います。合唱では、自分の持てる力を精一杯だすことは、当然ですが、仲間のいろいろな声や音と合わせることも必要になってきます。最初は、なかなか合いませんが、何度も練習を積み重ねていくと、自分の出す声や音とは、違う仲間の声や音を感じ取れるようになります。そして、その感じ取った仲間の声や音と「合わせよう」とする気持ちがお互いに生まれ、合唱や合奏ができあがっていきます。そう、心を合わせる事が大切なのです。これを**「ハーモニーを奏でる」**と言います。「ハーモニー」という言葉は、「一致」や「調和」という意味のことです。みんなは、日々の練習を通して、また、本番の緊張感のなかで合唱することを通して、学級の仲間、学年の仲間、そして、指導してもらった先生と、心を合わせてきました。だから、その素晴らしいハーモニーを体育館に響かせることができたのです。

開会の時に合唱以外の入場→合唱→退場の姿も立派だったと話しました。さらに鑑賞の態度もすばらしかったと思います。音楽部のパフォーマンスに素直に声援を送れる。みんな本当にいい子やなあと感じました。がんばっている人、頑張ろうとしている人を分け隔てなく認めることができるのが君たちの最も素晴らしいところです。みんなの周りにはいろんな人がいます。

自分のもっているものを大切にしながら、一人一人に違いがあり、よさや個性があることをこれからも理解して行ってほしいと思います。

さあ、これからも人を思いやる優しい心、互いを認める心をもって、みんなで素晴らしい、**「横中ハーモニー」を奏でていってくれることを期待しています。**

みなさん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

